

平成28年度米子市歴史館運営委員会議事録概要

開会

岡文化課長挨拶

(安江副委員長) 議事に入ります。議題1について説明をお願いします。

議題1 平成28年度事業報告について資料内容説明・報告

(安江副委員長) 平成28年度事業報告についてご説明いただきましたが、何かご意見等ございませんでしょうか。ないようですので次の議題2について説明をお願いします。

議題2 平成29年度事業計画について資料内容説明・報告

(安江副委員長) 平成29年度事業計画について説明がありました。皆さんからご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

(内田委員) 山陰歴史館についてですが、28年度の展示は2.26事件とか太平洋戦争とか戦争に関するものが多かったように思います。中学校2年で太平洋戦争をしますが、資料がなく教科書では少なく、身近な資料があるということを生徒たちに紹介できればよかったなと思います。29年度は神社にスポットを当てておられ、年ごとに企画を変えておられると思いますが、できれば西田税2.26事件、戦争についてこれは伝えていきたいというような事を毎年視点を変えて展示してもらおうと、より子どもたちに紹介しやすいと思います。

神社についても大変魅力的な取組であると思います。米子の神社に関してはどのような展示をされるのかももう少し内容を教えていただきたい。

(山陰歴史館) 神社が持っているお宝の紹介、氏神とはどういうものか、地域の社会、人々にとって氏神というのはどういうつながりがあるのかということを中心に展示をしたいと思います。

歴史に関係するいろいろな事件、2.26事件など29年度は企画していませんが、なにかそういうような形でやらなければと思っています。

(山藤委員) 楽しみにしています。目玉は何ですか。最近新しく文化財に指定されている物もあると思いますがそれらも展示されるのですか。

(山陰歴史館) 例えば、馬場八幡さん、角の生えた木製狛犬とか、赤井手の辺りに河岡山城守という地侍がおりまして馬場八幡さんに鎧櫃を寄贈したという記録が残っています。神社ごとの名

札、貴船神社では絵馬とか、粟嶋神社の社叢などです。

(山藤委員) 仮称になっているが、少しタイトルとしては地味な感じがします。何か目玉の展示を使ったようなインパクトのある名称にさせていただくといいかと思います。

(山陰歴史館) 何かおもしろそうなのを考えてみます。

(前田委員) 山陰歴史館の昨年の米子城の取り組みがすばらしくて、私の周りでもよくウォークに参加されている人がいます。米子城の取り組みというのは、米子市民のアイデンティティのようなものをまとめていけるような、シンボルとしても使え、山陰歴史館で何年間か米子城についてわかるような展示ができないものかと思います。

(山陰歴史館) する予定にしています。

(前田委員) ジオラマのようなものが作ってもらえるというようなことはないのでしょうか。子供たちはジオラマがあると想像することもできて、実際に行くこともできるので、子供のためにも作っていただけるとうれしく思います。

(事務局) この度米子城保存活用計画ができて、今後保存、活用と、それに伴う整備といった取り組みが課題になってきます。具体的な整備計画を作っていくという段階にもきていて、ソフト事業については今までやってきたことプラスアルファとして、現地ウォーク、シンポジウム等を引き続き実施するということがひとつと、整備という中では、資料を見せる場所として、例えばガイダンスというものをどういった形で作っていくかということも課題になってきます。そういったことを念頭に置きながら、米子城の整備、歴史館の整備という、市として2つの課題がある中で、できるだけ理解を深めていただけるようなかたちで整備をすすめていきたいと思えます。

(前田委員) 山陰歴史館との一体化というのはむずかしく、また2つの館ができるということではないのですか。

(事務局) 施設のあり方も含め、どういうかたちが一番いいのか検討していきたいと思えます。少なくとも今ある歴史館の資料は最大限生かすようにしていきたいと思えます。

(上村委員) 城山はどこが管理しているのですか。日曜日に天気が良かったので登ってみようと思って行ったら、倒木の関係で全部封鎖されていて登れなくて残念でした。

(事務局) 1月の下旬から2回大雪が降りまして、倒木や枝折れが多々あり、危険な箇所が多い

ということで2月の初めから登山道を立入禁止にしました。

城山は文化財としての管理は文化課ですが、湊山公園の一部であるため公園管理というかたちで維持管理課が管理をしています。倒木に関しては公園の木を整備するということで今回、維持管理課が対応してきました。登山道を覆い尽くすような大きな枝が落ちていたりしたので、それらを取り払えば1～2週間で復旧できると思っていましたが、高木の上の方に折れた枝がひっかかっているなど、一見わからないが、万一落下した場合に危険な状況であるということもあり、それらを取り除きながらチェックを入れ、ようやく一昨日安全が確認され解除ということになりました。今日の時点ではホームページで立入禁止解除のお知らせをするような運びになったのですが、休日には間に合わず大変ご迷惑をおかけしたという点がございます。高いところの枝落としというのが難しいと実感したところです。今後そういったことが起きないように樹木の管理をしていかなければと考えます。

（上村委員）危険であれば仕方がない。就将校区に勤めていますので、4月になると市内の小学校の多くが湊山公園を目指してウォーキングで遠足をするのですが、うちの学校も頂上まで登ってまた別のところをオリエンテーションで動くようにしていましたので大丈夫かなと思ったのですがありがとうございます。

（事務局）今は大丈夫です。花見にも何とか間に合いました。なぜ立入禁止になっているのかという理由もわかりにくかったかもしれません。何も変わったことはないのに入れないと受け止められた方もあったように思います。

（上村委員）倒木のためとは書いてありました。

（事務局）もう少し詳しくアナウンスしていけばよかったかと思います。いろいろ勉強になりましたので今後対応を考えてみたいと思います。

（安江副委員長）米子の神社ということで非常にありがたいことで、先程ご神体をという話がありました。ご神体そのものは展示に持ち出すことはできません。

（山陰歴史館）神像です。

（安江副委員長）わかりました。4月25日からですので準備はなさっていて、いろいろ集めていらっしやると思いますが、神社によってはなかなかいい写真を持っているところがないかもしれません。

（山陰歴史館）写真は外からのもので鳥居とかになります。

(安江副委員長) 展示物としては、歴史的な経過を表のような形にするということでないといけないと思います。非常に大変だとは思いますがよろしくをお願いします。

各館にですが、出前講座に相当力を入れていただいております、大変いいことだなと思います。大変だとは思いますがよろしくをお願いします。

(長谷川委員) 白鳳の丘展示館の常設展について、今年3館で連携をとっておられて、常設だと見慣れてしまい行かなくなります。地域にはお祭りがあつたりいろいろなことがあるので、その辺の宣伝も公民館くらいに春の大祭があつた時には資料館に上がってみてくださいというような、ちょっとしたことでもあつるとまた気持ちが違うのかもしれないと思います。3館の連携も見せていただいて、気持ちが行ってみようという姿勢になりました。

(南前委員) 文化財保護委員をしています。福市遺跡では人手の問題もありますが夏場になりますと古墳とかの地形が繁茂した草木のためにわからない状態になってしまっている。公園の下の平地の方はきちんと整備されるのですが、史跡公園なのに肝心の史跡の状態が分からない。何とかそこら辺の人の手立てをよろしくお願ひしたいと思つております。

(事務局) 草刈りというのはどこの史跡文化財でも頭を悩ますところなのですが、どうしても予算的に限られているところがありまして、草が一番伸びる頃とか、この時に刈っておくと効果的という時期に人手を入れて草刈りをするように努めてはおりますが、年間を通してみますとどうしても繁茂する期間がでてきてしまいますので、できるだけ予算を獲得していくような努力をしていくのと、可能な部分についてはある程度人の手で対応していくような方法も考えてみたいと思います。例えば、米子城ではボランティアの人たちと石垣の清掃をするような手法も取り入れていますので、同じようなことができるのかどうかということも考えてみたいと思います。

(南前委員) 私が秋口に参りました時、地元の明らかにボランティアの方が一生懸命溝掃除しておられました。地元の自治会で例えば、五千石公民館に声をかければその辺の作戦はのつていただけるのではないかと思います。

(事務局) 貴重なご意見をいただきましたので、お話をしてみたいと思います。

(内田委員) 各公民館で学習活動しておられて、その学習の場の一環として福市遺跡を利用してもらつてというようなことを連合会とかで紹介ができないのでしょうか。

(福市考古資料館) 公民館等には情報提供として、埋蔵文化財センターの会報等を送るときには是非ご活用くださいという案内文をつけて毎年4回くらい送つてはいるのですが、どうしても地元の五千石か尚徳くらいしか来られませなし活用していただけていない。学校も同じで五千石小か尚徳小くらいです。遠くの弓浜や旧市内から来ることはなく、来ても東高、西高の高校生が春の

遠足で来ます。館としても高校生も受け入れたいのですがなかなか館内には入って来ません。結構な人数が来るのですが、館に魅力がないと言われればそれまでなのですが。なかなか難しい問題です。

(内田委員) 保育園の遠足はどうですか。

(福市資料館) これも近くの保育園になります。公園の利用としては何万人という利用があります。5月にはつつじまつりがありますし、桜の時期にはそれなりに人が来ます。先ほど言われましたように夏は草が多くあまり人が来ませんが、池がありザリガニ釣りができたりして館としても古代体験以外にもそういうところを使ってもらおうと思ひ釣竿を用意して提供はしているのですが、公園の利用はそれなりにあります。

(松崎委員) 19ページの情報発信の欄でホームページなどを活用した施設情報の提供というところで、先程の説明では現在更新が滞っているということでしたが、それと先程質問にもありました高校生をどう取り込んでいくのかということに関連付けてお話しさせていただきます。今頃の高校生ですと情報の時間にホームページを作るという内容で学習していると思うので例えば高校生が自分たちで見学したことをホームページに作ってみようというようなことでつなげてやると自分たちが見てきたことだからというので関心をもってホームページを作るのではないかと思います。私が高専に勤めているのでアピールをするのですが、プログラミングも高専で教えていますので、ホームページを作るということをインターシップでさせていただくとかいうことでお金のかからないことで貢献をさせていただけるといいと思います。

(福市資料館) そういったかたちではインターシップは使ってなくて、土器とか古代体験の方には使っていました。参考にさせていただきます。

(内田委員) 昨年の夏に上淀白鳳の丘展示館に行かせてもらいましたが、素晴らしい施設でした。お寺の雰囲気を出そうと思ったら、多少読経があるとか線香の香りがするとか、映像的な資料を作り可視化することができたらもう少しリアルな当時のお寺の様子とか学習の場、今でいう大学的な扱いだったと思うので学僧がいたり修行僧がいたりとある程度人の動きや当時の動きが分かるようなものが可視化されるといいと思います。あまりにも素敵な施設だったのでもったいないと思いました。

(上淀白鳳の丘展示館) 貴重な提言だと思います。確かに展示館の開設という中でかけていると思う部分は今内田委員が言われたとおりで、いかに簡単にコンパクトに伝える映像を作るかということだと思います。作り方もいろいろな方法があると思いますので検討していきたいと思ひます。もう一つ、ホームページでの情報発信というのが、米子市から白鳳の里に入りそこからリンクで展示館に入るの、そこまでたどり着く人が非常に少なく実際、展示館というのはある種、

博物館でもあり、ある意味では観光施設でもあり、学術的な博物館のジャンルだけで不特定多数の人に知らしめるのは難しいので、観光施設として扱ってもらようよう観光課と相談しているところです。案内していて感じるのは来られた方皆さん感動されます。「なぜこんなところにこんな寺院が」「すごい施設だ」それがまだまだ全体の中でごく一部なので歯がゆさはあります。

(長尾委員) 淀江に近い妻木晩田史跡公園に勤めていますので、意見というか感想をお話したいのですが、先程、長谷川委員がおっしゃいました三館連携事業とされた山陰の考古学のあけぼの展を拝見しまして非常にいい展示だと思いました。代表する考古学の研究者が全国的に見ても著名な研究をされていますので、そういったところを取り上げていただいたのは、同じく考古学をする身として非常にありがたく思っています。三館連携ということでしたので今年の予定にも三館連携ですのかと思っていただけなくて、是非、他の施設の方も含めて連携は続けていただきたい、いい事業だと感じました。この考古学のあけぼの展ですが私の周囲でよく話題にあがり、大山町辺りの方々は非常に興味をもって見に行かれた方が多かったので、PRという意味ではもちろん米子市の市民の方に来てもらうというのは1番だと思うのですが、さらにはそちらの方にPRされることで集客につながると思いました。あとは、是非、考古学のあけぼの展、妻木晩田に巡回していただきたい、それをきっかけにしたもの、もちろん歴史館、福市考古資料館に行ってくださいと思います。妻木晩田の入館者数からすれば春休み、夏休みかなりの方がいらっしゃいますのでPRの場にどんどん協力できればいいと思いますので、是非お声かけいただければと思います。

(上淀白鳳の丘展示館) 長尾委員の話の中で、29年度連携事業についてきちんとそれなりの総括をしたうえで来年度どうするか事業計画の一つとして検討したいと思います。それと29年度は妻木晩田事務所と一緒に連携事業をこれからご相談方々やってみたいと思っています。引き続き頑張っていきたいと思っています。三館の今回のあけぼの展も妻木晩田でというのも内部で相談してみたいと思います。

(福市考古資料館) 大山町の方々が公民館で展示をやりたいと言っておられまして資料を貸してほしいと言っておられました。

(長谷川委員) 集落の神社の氏神さんの入口に開運の旗が立っているのですが、干支のシリーズで県が企画されたかどうか定かではないのですが、干支が変わっているのに、ちょっと気になっています。昨年が午年で石馬の旗がきたと思います。開運のスタンプラリーの旗が立っている。今年干支が違うのにまだ立てとられるし、県外のお客さんが多いと誤解されるかと思っています。

(安江副委員長) 総代さんに相談されたらいいと思います。

(上淀白鳳の丘展示館) 開運につながる神社めぐりということで県の観光連盟が主催している事

業で、確かに干支が年々違うというときに、午年の時に県内の神社で上淀の神社にということでのぼりを立てられた、その時の経過として1年たったら撤去するのですかと聞いたら12年に1回巡りあわせのある神社だからあえて撤去しないと聞いています。どうしても知らない人が見て誤解を招いたり混乱するようだったら私の方から県の観光連盟に言って撤去してもらおう。ひとつにはおかしくても建て前そういった趣旨ですので、神社総代や地元自治会からそういった声があれば連絡して撤去してもらおう。1年だけ置くというような意味合いではなかったと思います。

(内田委員) お願いなのですが、小学校中学校では夏休みに地域のことを調べたりする地域学習を夏休みの宿題でさせていくのですが、米子の神社というのも7月20日から8月20日くらいだと都合がいいなと思うのですが、難しいでしょうから、紹介だけでもできればいいと思います。これは事務局にお願いになると思いますが、今日もチラシをつけていただいています、チラシができた時点でアップしたという連絡があると紹介しやすいと思いますので、案内がもらえるとうれしいです。

(遠藤委員) たくさんの館、施設が低迷しているということをこういった会だけでなく聞くことがあります。その時に一般の方が施設のことでは一番知りたいのはどうやって見ればいいのか、正しい見方といったらおかしいですが、活用の仕方というのが伝わっていないのでせっかく庭先までできているのに中まで入っていかないというのがあると思っています。入口がどこであるべきかと言ったらわからないのですが、例えば学校であれば教育学的な見地から入っていかれるでしょうし、一般の方でしたら自分の教養という部分を磨きたくて入っていかれるかもしれませんし、もしかしたら健康増進の一環とかあるいは観光の一環として入りたいという方もあるかもしれない、大きく分けていくと教育なのか教養なのか観光、健康なのかそういう分野にいる人たちがどうそこに入っていくのか入口をたくさん増やしていくことが入館の増につながっていくと思っています。その時によく民間とかでは観光的にそこが活用されるためにはどうしたらいいのか、あるいは地域が振興するためにはどうしたらいいのか、中山間地域にどうやって人が来てもらえるかという手法で、先程高専の方々のこういった活用もあるというお話もありましたが、よく学生さんたちを使います。学生さんは考えていることのレベルが違うので別の視線、視点というのが出てくると思います。その人たちも勉強の一環として入って行って、いいか悪いかピントがずれてるかもしれませんがレポートもしてくれそうですし、そういった活用が必要なのではないかと思えます。一般の民間人としても自然資源を使って健康増進プログラムというのを作ってしまして、米子城を歩いたりとか、妻木晩田遺跡に行ったりとかしています。その人たちが入ろうとしたときにどうやって入っていいかわからない、視点が分からなかったりすると史跡を歩いて終わったりとか、池見て終わったりとか、山登って終わったりする。その入口になる所の情報提供がもう少し具体的にあると非常にありがたいと思っております。

(山陰歴史館) 例えば2. 26事件の例で言いますと、その人がどういう観点で見に来たのかがよくわかりません。ついで見たとか、見に入ったとか、こちらの視点では2. 26事件に関係

することはこういった歴史的なことからなっているか、西田税はどういった生涯を送ったかがわかるようにしてあります。きちんと誰かがついていて説明すればわかるのですが、なかなかそういうこともできません。たくさん来られた場合には、説明することもできますが、すべての要望に応えることができません。先ほど出ましたが、生徒は来ません。中学生が少なく、高校生は0人で興味関心がないです。つまり、学校では歴史に興味を持たせる授業をしているのかどうか疑問に思っています。実際に学校にパンフレットを持って行っても興味がないかなと思っております。やはりもう少し学校の方でもいい企画があるからちゃんと見に行くような指導も必要ではないかと思えます。小学校、中学校で夏休みの自由研究というのがありますが、神社のものをみて、触発され調べていくというのもひとつですが、そうではなく自分で考えて、自分で習った授業の中からテーマを選んで、夏休みに勉強するという自発性というのも大切ではないかと思えます。12月に伯耆文化研究会で発表させるようなことをやっておりますが中学校は少ないです。

(上淀白鳳の丘展示館) 先程の遠藤委員の話のなかで、歴史に関心を持つというのはいろんな切り口があって、学習したい、歴史に興味がある、私たちが昨年したのが文化財祭りのなかで上淀廃寺をテーマにしてフォトコンクールと俳句大会をしました。俳句大会は高齢者の方ですが、上淀廃寺を俳句に歌おうとすれば必ず上淀廃寺とはということで展示館に来られたり、同じようにフォトコンクールに応募した人というのはそこを知るために展示館に来られたりということで、ある意味での入館者増を狙ったところもあります。ほんとに難しいジャンルに分けてしまうと教養と観光は別だという感覚になるので、言ってみればいろいろな切り口の中からできるだけ情報をたくさん発信しながら少しでも関心の裾を広げるような取り組みを時間がかかるけれども大事なことだと思います。

(安江副委員長) いろいろご質問いただきました。それぞれの施設には十分な施設ではありませんが、その中で色々と四苦八苦しながら英知を絞って事業展開し計画いただいておりますことありがたいことと思えます。皆さんの意見を十分に心していただいて29年度立派な運営ができますようお願いしたいと思います。29年度事業計画については終わりたいと思えます。続いてその他に入ります。米子市指定管理者制度適用施設モニタリング基本方針について説明をお願いします。

米子市指定管理者制度適用施設モニタリング基本方針について説明

(内田委員) 昨年も6月に返信をとということでしたが、私自身悩んだのが施設のことを知らないのに評価できないなということがあって、文書を読むのですが具体的に入ってこなくて、返せずじまいになっていました。

(事務局) 実際に展示であったり施設であったりをみていただくというのが本来なのでしょうけ

れども、実際には第一段階として月々各施設で評価し、それを元に事務局で達成されているかどうか評価をして、それを見ていただいて判断をしていただく形をとっています。実際には行っていただくのが本来なのでしょうが。

できるだけ年に1回でもご都合のよろしい時にお足を運んでいただけたらと思います。

(埋蔵文化財センター) 先程言われたようになかなか情報をお送りしていないので来られる機会もなかったかもしれませんので、今後お送りしたいと思いますので是非足を運んでいただければと思います。

(前田委員) インターネットで調べてみると、トリップアドバイザーにしても楽天のアプリから上淀白鳳の丘展示館というのが出てきません。周りの伯耆古代の丘公園と上淀廃寺というのは出てくるのですが、展示館が全く出てきません。山陰歴史館からのリンクでは出てきます。カーナビでもそうですが近くを通った時に行ってみようと思うのはポンとヒットしたところに行くというがあるので、すぐに出てくる仕掛けというのも必要かもしれません。

(松崎委員) 書き方に迷ったのですが、評価というといいか悪いかというスケールなのかと思ったのですが、私としては要望を入れたかったので文末が〇〇してほしいというものになってしまい、正しい書き方ではなかったと他の方の表現をみて思いました。どういった内容を求められているのでしょうか？

(事務局) 要望に対しても反映ができるものであれば各施設で対応したいと思うので、特にどうかたちでないといけないというのはないので、ある程度要望があってもいいかと思います。記述としては自由に記入していただいてもいいと思います。

(安江副委員長) モニタリングについてほかにございませんか。ないようですが、全体を通してでも構いませんがございませんか。ないようですので以上で閉会させていただきたいと思います。